



被災地(宮城県)訪問(3月26 - 27日)

Sをひとつひとつ政府与党、関係府省庁、各地災対本部に持ち込んで個別に交渉し解決を図るという役割でした。

看護の現場、つながる思い

看護職ならではの業務も多く、医薬品を中心とする物資の調達・配送ルー



自民党災害対策本部情報交換会議(3月23日)

311、続々SOS

看護職は、最も深刻なところへ行き、その問題から逃げずに対応せよ」と教

離れていても命を思う心は一つ 一看護の仲間“誇り”を感じます

高階 恵美子 参議院議員



自民党「絆 kizuna がんばろう日本!」のマーク

自らも被災していながらひたむきに活動を続ける看護職、そして仲間の活

から届くSOSをもれなくキャッチして確

憶測が飛び交う被災直後は不定期につ

ぼしました。大震災からの気づきをこ

子供の育ち、未来の街づくり

喪失体験の傷が癒えるまでには相当

健康と暮らしの両方をみる 看護の視点で政策を提案

燃料の不足は医療機関のスタッフの



被災地(岩手県・宮城県)訪問(長島忠美衆議院議員、谷公一衆議院議員と岩手県住田町仮設住宅建設現場にて)



福島県いわき市の看護連盟会員施設を訪問(6月11日)

確認するという時間が続きました。残念なことに現政府は責任ある立場

直ぐに党の「東日本巨大地震・津波緊急災害対策本部」事務局次長を任命



④「風興プロジェクト」で宮城県内の介護老人保健施設を訪問(6月12日) ⑤「風興プロジェクト」で宮城県内の避難所訪問(6月12日)



の苗や種を被災地に届け、避難所等で

現場の声が私の活動を支えてくださ